

### Ⅲ. 2013 年度事業実績詳細

## I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

### 1. 市民主体の国際交流活動推進事業

#### (1) 情報サービス事業

◆発信をコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ① 協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ② 在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③ 地域で生活する外国人へ多言語での情報

表紙のデザインは、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部、大阪府立豊中高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。

ニュースレターを日本語版と多言語版に分け、日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。また、外国人向けには 8 言語(英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語)で事業案内や生活情報発信を開始した。

<A4版8ページ1色刷り(49号～51号)各月 2000部

<A4版8ページ2色刷り(52号)1700部>

<A4版4ページ2色刷り(53号～60号)各月 1700部>

発行月	号数	主な内容
2013年 4月	49号	協会設立20周年 プロジェクト“ハタチ”について
5月	50号	協会事業の紹介(子どもサポート事業、大人サポート事業)
6月	51号	大阪府知事賞受賞報告、デザイン5～進捗状況
7月	52号	外国にルーツをもつ若者支援事業の紹介
8月	53号	2012年度末の在留外国人数について
9月	54号	小学校外国語体験活動の案内
10月	55号	国際交流と人権を考えよう Part I の報告
11月	56号	東北復興支援バザーと国際交流と人権を考えよう Part II の報告
12月	57号	UNLEARN 学びほぐしセミナー「とよなかの未来の多文化共生」の報告
2014年 1月	58号	ハタチを祝う仮面劇公演の報告
2月	59号	大阪弁護士会人権賞受賞報告
3月	60号	2013年度事業評価会の報告

#### ◆書籍・新聞・雑誌などの閲覧提供

雑誌の提供と収集事業。言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行った。他、昨年度に引き続き半年毎に100冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、図書館との連携のもと図書館の充実化を図った。

・図書類(外国語図書(絵本)、DVD、CD含む)

貸出		貸出件数(件)	増刷		購入件数(件)
総数		136	総数		84
【内訳】	一般図書	22	【内訳】	一般図書	37
	外国語図書(絵本含む)	114		日本語学習関係	32
	<内> 中国語	(44)		辞書類	1
	スペイン語	(23)		絵本(日本語)	5
	ネパール語	(1)		外国語図書(絵本含む)	9
	タイ語	(10)		<内> 韓国語	(3)
	ポルトガル語	(13)		ポルトガル語	(3)
	韓国語	(16)		中国語	(3)
	フィリピン語	(4)			
	インドネシア語	(3)			

・定期刊行物

内容		購入点数(単位:冊)	フリーペーパーなど(単位:誌)
定期刊行物	日本語新聞	3	
	雑誌・機関紙等	1	5
	外国語新聞	3	3

・民族楽器、民族衣装、民族教材

内 容(貸出件数)	民族衣装(12 件)	民族楽器(1件)	民族教材(9 件)
-----------	------------	----------	-----------

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、利用期限を区切って自由に個人的な情報交換ができるようにした。利用件数:15 件

◆ホームページ<年間ホームページ訪問者数 12,796 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 868 件>

主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるようにした。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新を行った。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

Facebookならびに Twitterを利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。毎日行われている事業を<本日の ATOMS>として紹介していることは、イベントという“ハレ”の舞台だけでなく、協会の普段の活動の様子を知ってもらいたい良い機会となっている。

Facebook の友達数 515 人(3 月末日現在)、Twitter のフォロワー数 208 人(3 月末日現在)

◆プレスリリースの発行:毎月メディア各社向けにプレスリリースを発行。定期的な事業周知を開始した。

◆ケーブルテレビへの出演・取材協力

ケーブルテレビの情報番組「エキスタあつまれ」や「かたらいプラザ」に出演し、センターでのイベントや協会の活動について周知をはかった。

◆無料インターネット利用:107 件(うち外国人 6 件)

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内 容
6 月 3 日	日本教育新聞	外国にルーツを持つ子どもが集う(たぶんかミニとよなか)
9 月 10 日	千里タイムズ	Viva!!ブラジルの紹介
9 月 13 日	読売新聞	ニッポンの茶道 外国人が挑戦、国際交流と人権を考えようについて
9 月 20 日	読売新聞	東北復興支援バザーについて
12 月 2 日	大阪日日新聞	20 年の歴史、活動紹介をした設立記念冊子を発行
12 月 6 日	千里タイムズ	協会&センター20 周年、歴史や事業などを紹介した記念冊子を発行
1 月 16 日	朝日新聞	大阪弁護士会より人権賞を受賞
1 月 22 日	毎日新聞	大阪弁護士会より人権賞を受賞、授賞式に出席
2 月 28 日	月刊大阪弁護士会	第 13 回大阪弁護士会人権賞決定

◆取材協力

朝日ファミリー「世界のキッチンから」(2013 年 3 月 8 日発行 北摂・阪神版 (フィリピン))/2013 年 7 月 5 日発行 阪神版(ブラジル)/2013 年 9 月 13 日発行 北摂・阪神版(モンゴル)/2013 年 10 月 25 日発行 阪神版(イラン)/2014 年 3 月 7 日発行 阪神版(香港)

(2) 市民活動協働事業

◆市民活動共同デスク

2010 年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ 21 との 5 団体で編集委員会をつくり、『2011 とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。

2013 年度は、情報発信の手段として 6 団体(スポーツ振興事業団が 2013 年度より参加)それぞれの活動報告を掲載した「壁新聞」(8~10 号)を発行した。今年度の壁新聞は、紙面上で様々な試みを行い、写真やマスコットキャラクターの活用や、各機関のイベントが一目でわかるような一覧を掲載するなどの工夫を行った。また、「きずな」主催の映画上映会「Workers ワーカーズ」(森康行監督、日本労働者協同組合(ワーカーズユープ) 連合会センター事業団製作)に共同デスクとして後援を行った。

会議実施日	内 容(場所)
4月19日、27日	6団体打合せ(Will Space)、「壁新聞第7号」発行
5月17日	6団体打合せ(Will Space)
6月28日	6団体打合せ(Will Space)
7月26日	6団体打合せ(Will Space)
8月15日、29日	6団体打合せ(Will Space)、「壁新聞第8号」発行
9月24日	6団体打合せ(Will Space)
10月5日、25日	6団体打合せ(Will Space)、「壁新聞第9号」発行
2014年1月17日、27日	6団体打合せ(Will Space)、「壁新聞第10号」発行
3月18日、21日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)、「きずな」10周年イベント

また、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通 年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなか JSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援、及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
7月～通年	地域のNPO(登録グループ)が実施する日本語学習プログラム運営委員会に事務局長が委員に参加し、助言を行った。
9月～通年 (月1回)	「多様な支援をする人のための対話の会」をボランティア研修事業として開始した。大阪大学大学院臨床哲学研究科とカフェフィロの協力のもと、市民グループのスタッフ、ボランティアが活動の上で抱える問題、悩み等を語り合う場を設けた。
12月1日～	市民団体からの相談窓口を開設した。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」のページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
3月22日	とよなか国際交流センター登録グループとの第1回ヒアリング会を開催し14団体が参加した。市民団体の活動環境向上にむけて、意見交換を行い課題を共有した。

#### ◆その他

今年度より豊中市市民活動公益活動協議体らつぷ((特活)ユニバーサルデザイン推進協会、(特活)ラブとよネット、プラットフォームとよなか)とも連携を開始し、地域で活動する団体との情報交換を随時行った。

また、庄内公民館における「南部地域の夢・未来を語り合おう ラウンドテーブル」に参加し、これまで連携の少なかった南部地域について地域の方々との意見交流会に参加するとともに、外国人を含む地域市民にとっての現状と課題について意見を交換した。〈場所は、いずれも庄内公民館〉

実施日	内 容	参加者
11月7日	「教育・子育てについて思い、願うこと」	2人(職員2人)
1月14日	「地域活性化と地域魅力の発見・創出にむけて」	3人(協会ボランティア2人、職員1人)
2月14日	「防災・防犯など安心・安全なまちづくりにむけて」	2人(職員2人)

### (3) 留学生ホストファミリー事業

◆世話人会定例会(メンバー8人) 毎月第3木曜日 全12回実施

◆交流会実行委員会定例会(メンバー8人):毎月第2木曜日(ただし8月、12月、2月、3月除く)全8回実施

◆ホストファミリーボランティア数:登録家族105家族

<登録説明会>(単位:家族)

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族総合計
4月14日	11	7	24家族
6月16日	15	8	
3月9日	18	9	

◆留学生との組み合わせ数(単位:組)

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	31	42	73	97
JASSO	24	—	24	

#### ◆交流会企画

(単位:人)

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
4月27日	お茶の会①	8	8	16
5月5日	BBQ	45	15	60(15家族)
5月25日	万博で遊ぼう!民族学博物館見学	54	24	78(23家族)
6月15日	お茶の会②	8	2	10
9月7日	お茶の会③(国際交流と人権を考えよう Part I と合同)	14	5	19
10月5日	お茶の会④	8	7	15
10月27日	和菓子づくり体験と京都散策	27	23	50(15家族)
11月9日	ポットラックパーティ(すてっふホール)	56	30	86(26家族)
11月16日	お茶の会⑤	7	6	13
2月9日	お茶の会⑥	7	4	11
	合 計	234	124	358

## ◆関連機関との打ち合わせ、講演会等

(単位:人)

実施日	学校名	内 容	参加者数
4月5日	大阪大学	春期対面式①	46
4月20日	大阪大学	春期対面式②	38
5月11日	JASSO	対面式	76
8月5日	大阪大学	OHP連絡協議会	4
8月17日	大阪大学	Mapleコース修了式	3
9月9日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	3
9月13日	JASSO	スピーチコンテスト	2
9月26日	JASSO	打合せ	3
9月27日	大阪大学	秋期対面式①	54
10月4日	大阪大学	秋期対面式②	7
10月5日	大阪大学	秋期対面式③	48
12月12日	JASSO	国際交流フェス	5
2014年2月20日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	3
2月22日	JASSO	打合せ	3
2月27日	大阪大学	OHP連絡協議会	4
3月13日	大阪大学	学部留学生修了式	3
3月14日	JASSO	卒業式	1
合 計			303

## ◆ニューズレターの発行(年3回)

<主な掲載内容>・特集(毎月号)/ホストファミリーと留学生の交流体験談/留学生コラム/いわせてあれこれ  
～交流に関するいろいろなお話～/活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	いわせてあれこれ
7月4日	51号	体験!社会見学特集	ポーランド・タイ	携帯電話を持っていない留学生との連絡方法
12月5日	52号	イスラム教を知ろう!	タイ・台湾	オフィシャルな交流後はどうしてますか
2013年 3月6日	53号	留学生とホストファミリー事業 の20周年	ヨルダン ウズベキスタン	交流会に参加しての感想

## ◆協会イベント「国際交流と人権を考えよう」への参加(9月7日、8日の「お茶の会」)

## 2. おとな国際事業

## (1) にほんご活動事業

日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数(うち外国人)	のべ実施回数
もっともっとなつかえるにほんご	月曜	10:00~12:00	390人(191人)	39回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30~15:30	1,355人(611人)	45回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30~12:00	3,349人(1,543人)	48回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00~12:00	267人(122人)	37回
総合計			5,361人(2,467人)	169回

## ◆交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数(うち外国人)
もっともっとなつかえるにほんご	4月1日	お花見	10人(2)
	10月7日	料理会	16人(6)
	3月31日	お花見	4人(1)
とよなかにほんご・木ひる	5月7日	ハイキング	19人(7)
	2月20、27日、3月6、13、20日	学習会	50人(0)
とよなかにほんご・金あさ	4月19日	ボランティア懇親会	47人(0)
	12月20日	バザー	60人(14)
	1月24日	お正月体験	90人(42)
にちようがちゃがちゃだん	12月22日	自己紹介かねてのお茶会	9人(2)
総合計			305人(74)

## (2) 豊中市親子参加型日本語教室・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館において、国際交流センター以外の公的な場で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して、生活や子育てなどの情報交換の場、様々な悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

【おかまち・しょうない・せんり/おやこでにほんご】 参加者合計 1,215 人(うち外国人 440 人)

### ◆おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館 3 階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2013 年 4 月 9 日～2014 年 3 月 18 日までの 38 回		
活動時間	毎週火曜日午前 10:00～12:00、総活動時間(76 時間)		
人 数	ボランティア登録者数(8 人)、のべ参加者数(387 人)		
うち外国人おとな	70 人	うち外国人子ども	59 人
うちボランティア大人	198 人	うちボランティア子ども	60 人

### ●活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4 月 9 日	お花見	8 月 27 日	ヤクルト工場見学
4 月 23 日	工作・かぶと作り	9 月 17 日	アサヒビール工場見学
5 月 14 日	人形劇	9 月 24 日	お料理会(秋の食材で)
5 月 21 日	カウンセリング	10 月 1 日	バスソルト作り
5 月 28 日	石鹸作り	10 月 15 日	リトミック
6 月 11 日	父の日クラフト	11 月 15 日	消しゴムハンコ作り
6 月 18 日	虫よけスプレーづくり	11 月 26 日	図書館の人の読み聞かせ
6 月 25 日	ヘアーゴム作り	12 月 3 日	お楽しみ会
7 月 2 日	七夕の飾り作り	1 月 21 日	お料理会(デコ巻きずし)
7 月 9 日	カラーコーディネート	1 月 28 日	豆まき
7 月 16 日	おかまち・しょうない・せんり合同お茶会	2 月 4 日	日本伝統の遊び

その他、おしゃべり会 16 回

### ◆しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館 3 階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2013 年 4 月 16 日～2014 年 3 月 11 日までの 37 回		
活動時間	毎週火曜日午前 10:00～12:00、総活動時間数(74 時間)		
人 数	ボランティア登録者数(12 人)、のべ参加者数(365 人)		
うち外国人おとな	82 人	うち外国人子ども	80 人
うちボランティア大人	113 人	うちボランティア子ども	85 人
うち日本人(子ども含む)	5 人		

### ●活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4 月 13 日	お花見	10 月 1 日	バザー準備
4 月 23 日	かぶと作り	11 月 19 日	お楽しみ会計画
5 月 14 日	香港のお母さんお帰りパーティ	11 月 26 日	服部緑地公園でお花摘み
5 月 28 日	公民館職員と情報交換	12 月 3 日	お楽しみ会
6 月 18 日	マッサージ計画	12 月 10 日	お誕生会
6 月 25 日	新人さん見学とハンドマッサージ	1 月 14 日	新年会
7 月 2 日	おやこでにほんごの説明	1 月 21 日	豆まき
7 月 9 日	物々交換	2 月 4 日	日本伝統の遊び
9 月 3 日	外部からの活動視察(指定管理評価委員)	2 月 25 日	取材
9 月 17 日	新メンバー歓迎会		

その他 おしゃべり会 18 回

### ◆せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室		
活動期間	2013 年 4 月 9 日～2014 年 3 月 25 日までの 31 回		
活動時間	毎週火曜日午前 10 時～12 時、総活動時間数(62 時間)		
人 数	ボランティア登録者数(9 人)、のべ参加者数(463 人)		
うち外国人おとな	80 人	うち外国人子ども	69 人
うちボランティア大人	184 人(うち外国人 7 人)	うちボランティア子ども	130 人

●活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月9日	お花見	11月12日	手芸教室(編み物)
4月23日	3、4月のお誕生日会	11月26日	お料理会(タイ料理)
5月14日	お料理会	12月3日	お楽しみ会
6月4日	アサヒビール工場見学	12月10日	お誕生日会
6月11日	新聞びりびり	1月28日	お料理会(恵方巻き)
6月21日	お料理会	2月4日	お料理会(バレンタインチョコ)
7月16日	おかまち・しょうない・せんり合同お茶会	2月25日	お誕生日会
9月10日	お料理会	3月11日	手作り凧を揚げよう
10月8日	遠足	3月18日	送別会
10月29日	ミカン狩り	3月25日	お料理会(ブラウニー)

その他、おしゃべり会 11回

◆フォローアップ研修

日 程	2013年11月5日(火)午前10時～12時
場 所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
ファシリテーター	山本愛(とよなか国際交流協会職員)
テーマ	ワークショップ「おやこでほんごのこれまでとこれから」
参加者数	23人(うち外国人2人)

◆豊中子ども読書推進連絡協議会ワーキンググループへの参加

グループ名	「障害のある子どもや外国人の子どものグループ」「小中学生グループ」
日 程	6月25日(第1回)、10月29日(第2回グループ合同会議)、 2014年1月29日(第3回グループ合同会議)

◆職員研修の受け入れ

日 程	2013年9月12日、9月20日(計2回)
内 容	豊中市職員2年目研修
参加人数	のべ10人
受入先	「とよなかにほんご・木ひる」「とよなかにほんご・金あさ」

◆豊中市の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会参加):

<5月7日、9月10日、12月16日、2月20日:計4回>

◆その他

日 程	内 容	場 所
6月27日	識字・豊能ブロック行政担当者によるブロック内教室見学(とよなかにほんご木ひる)	とよなか国際交流センター
2月8日	識字日本語豊能ブロック交流会 発表:「ステップアップをめざしての日本語」(もともつつかえるにほんご)	箕面市立市民会館
2月20日	指導者研修会 テーマ:社会的困難を有する若年者のリテラシー実態とその支援に関する実証研究 講師:京都女子大学 教授 岩槻知也さん	豊中市役所別館3階

3. 持続可能な地域づくり事業

(1)メディア・リテラシー市民ゼミナール

◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	3月8日(土)、9日(日)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ25人(うち外国人6人)
テーマ	文化とコミュニケーションの多様性
講 師	登丸あすか(文京学院大学助教)、田島知之(京都女子大学非常勤講師)
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・メディアが提示するステレオタイプ「外国」 ・コミュニケーションを創り出すとは? ・メディア制作 ・グループプレゼン&講評

●実施内容詳細

(1)参加者同士の「対話の文化」を作る。(2)参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得する。(3)マイノリティ市民の視点で

考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。近年、ヘイトスピーチのデモが新聞などで報道され、社会問題化している。そこで 2013 年度は、公共空間でのコミュニケーションとはどうあるべきかと、メディアが提示する「外国人」「グローバル化社会」を読み解き、発信することの意味を考えることを目的とした。そして、自分でメディア表現し、発信していくための映像作りにグループで取り組んだ。

## (2) 持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し 2005 年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の 10 年」を受け、2005 年 2 月にキックオフをした ESD とよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(7社)が事務局会議を行いながら、緩やかにつながりながら活動を行ってきた。2013 年度は協会が代表団体となり、会の運営や企画に積極的に関わった。セミナーとしてワークショップを、これまでの成果と課題をふりかえるとともに、ESD の原点に立ち返るためのフォーラムを開催し、会場では「古本市」や「陶器とりかえ隊」など地域の多彩な取り組みも行われた。2014 年の「ESD の 10 年:最終年」を迎えるにあたり、より地域との連携を進めることができた。また、市と連携し「駅周辺清掃活動」に外国人市民が積極的に参加し、外国人が支援されるだけでなく、地域社会に貢献する姿もみることができた。

### ◆2013 年度 ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数	構成団体&機関名
5月23日	12	NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21
6月25日	12	NPO 法人 とよなか市民活動ネットきずな
8月29日	12	赤ちゃんからの ESD
10月24日	10	一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会
11月18日	8	一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団
12月6日	11	公益財団法人 とよなか国際交流協会
1月21日	11	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
3月28日	13	豊中市(環境政策室、人権政策室、千里地域連携センター、人権教育室、地域教育振興室)
合計	89	

### ◆防災訓練、セミナー等

地域連携の一環として、今年度は豊中市(環境部)が実施する美化啓発行事や市民環境展などに積極的に職員や外国人ボランティアが参加した。また、セミナーを開催して ESD に関する啓発をはかった。

実施日	内容	場所	参加者数(外国人)
6月27日	クリーン作戦・駅前周辺清掃活動 (豊中市美化啓発行事への参加)	阪急豊中駅前 阪急岡町駅前	7(5) 4(3)
7月12日	防災訓練 共催:大阪府国際交流財団(OFIX) 協力:豊中市危機管理室、北消防署	とよなか国際交流センター	47(24)
8月3,4日	とよなかもつりへの参加	豊島公園	45(12)
11月22,23日	とよなか市民環境展に出展	豊島体育館	12(2)
1月18・19日	ESD セミナー テーマ:わたしのいいところ見つけた	中央体育館・ひびき	5(2)
2月5日	ESD フォーラム テーマ:未来へつながる、地域のちから	千里文化センター	15(4)

### ●多言語による防災ガイドの発行 (計 9 言語)

英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、ベトナム語

### ●外国人の防災意識を高める取り組み:救急通報や消火器訓練のほか、実際に非情持出し袋を手に取り非常食体験を行った。

### ◆その他 国際理解教育などの講師の派遣など <のべ 28 件、72 人を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師	人数
1	毎月 1 日	庄内神社幼稚園(国際理解)	ペルー	1
2	5月15日	豊中市教育研究会(国際理解)	韓国・朝鮮(職員)	1
3	5月29・31日	灘高等学校(倫理科におけるイスラーム学習)	インドネシア、職員	2
4	6月19日	豊中市立第十一中学校(国際理解)	ペルー、中国(2)、韓国、ホンジュラス、フィリピン、エクアドル、インドネシア、ベトナム	9
5	6月15日	門真市外国人教育研究協議会(遊び・ダンス紹介)	フィリピン	2
6	6月26日	大阪市教職員地域研修推進委員会西B(教員研修)	フィリピン	1
7	7月5,10日	阪大病院院内学級(大阪府立刀根山支援学校) (英語を通じた国際理解)	スリランカ、タイ	2
8	10月18日	茨木市立豊川中学校(国際理解)	タイ、中国、フィリピン	3

9	10月23日	豊中市立第十四中学校(国際理解)	タイ、中国、韓国、フィリピン(2)	5
10	10月28日	地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウム in 松本	職員、ボランティア	2
11	10月31日	大阪府立豊中高校(国際理解授業)	中国(3)、韓国(2)、インドネシア、ブラジル、フィリピン、モンゴル	9
12	10月31日	大阪府立桜塚高校(人権講演会)	アメリジャン(アメリカ)、フィリピン	2
13	11月1日	豊中市立第一中学校(国際理解)	メキシコ	1
14	11月27日 12月6日	豊中市立千成小学校(国際理解)	中国	1
15	12月9日	豊中市立豊島小学校(国際理解授業)	タイ、イラン	2
16	12月13日	池田市立呉服小学校(公開授業ゲストスピーカー)	職員	1
17	12月20日	豊中市立寺内小学校(異文化理解)	ペルー	1
18	2014年 1月11日	大阪府立学校在日外国人教育研究会 (ネパール人生徒の支援について)	職員	1
19	1月19日	地域防災力アップセミナー「外国人のための防災活動」	職員	1
20	2月7日	島本町立外国人教育推進協議会(教員研修)	韓国・朝鮮(職員)	1
21	2月7日	豊中市立第二中学校(異文化理解)	中国、フィリピン、ベトナム、フランス、ネパール	5
22	2月8日	識字・日本語豊能ブロック交流会(「ステップアップをめざしての日本語」についての発表)	スリランカ(協会ボランティア)、日本(5、協会ボランティア)、職員	7
23	2月13、14日	阪大病院院内学級(大阪府立刀根山支援学校) (英語を通じた国際理解)	台湾・アメリカ、イタリア	2
24	2月14日	豊中市立第四中学校(異文化理解)	中国、フィリピン、ベトナム、フランス、タイ	5
25	2月25日	豊中市立少路小学校(国際理解)	中国	1
26	2月25日	とよなか男女共同参画財団推進財団 (協会の取り組みについて)	職員	1
27	3月27日	豊中都市管理株式会社職員人権研修	職員	1
その他				
28	執筆協力 (3月発行)	大阪大学未来戦略機構「未来共生リーディングス・外国にルーツを持つ子どもと支援活動～居場所づくり・学習支援の現場から」	韓国・朝鮮(協会ボランティア)、職員	2
合計				72

#### 4. 持続可能なひとづくり事業

##### (1) ボランティア研修事業

###### ◆2013年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	9月19日	共に豊かになるために～自損感情から自尊感情へ	金相文(とよなか国際交流協会事務局長)	30 (1)
第2回	9月26日	人権の視点から見る、外国人の抱える問題	川村暁雄(関西学院人権福祉学部社会企業学科教授)	30 (2)
第3回	10月3日	多文化共生社会の実現に向けて ～渡日児童・生徒の教育から考える	筒井博美(大阪市立関目東小学校校長)	28 (1)
第4回	10月10日	「はじめよう!日本語交流活動」 ふりかえり、活動紹介、協会紹介	とよなか国際交流協会職員(山本愛)	46 (1)
合計				134(5)

###### ◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた(せんり・おやこでにほんごは今回募集せず)。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

<時間はいずれも10時～12時>

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5月30日	日本社会と共生について考える ～在日コリアンの視点から	金相文 (とよなか国際交流協会事務局長)	33(2)

第2回 6月6日	多文化の子どもにはチカラがある ～子どもの権利条約と支援者の役割	浜田進士さん (子ども人権ファシリテーター)	31(4)
第3回 6月13日	とよなか国際交流協会の取り組みと “おやこでにほんご”活動紹介	山本愛(とよなか国際交流協会職員) せんり・おやこでにほんごのボランティア	24(4)
合計			88(10)

#### ◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

市民感覚で、提案されたテーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、フランス発祥の「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学コミュニケーションデザインセンター教員、大学院生・大学生と共に創出した。隔月で開催する哲学カフェも5年目を迎え、幅広い市民層を迎え入れながら定着してきた。2013年度は、ミーティングでカフェ・フィロ、協会職員と一緒に話し合いテーマを決定した。また、2013年度からはチラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	5月18日	信頼するって何をする事?	金和永(大阪大学大学院)	13(2)
第2回	7月20日	あなたは子どもですか?	桂野口結衣(大阪大学大学院)	17(1)
第3回	9月21日	なぜ友だちをつくりたいのか	青木健太(大阪大学大学院)	16(1)
第4回	11月16日	強くなりたい?	川崎唯史(大阪大学大学院)	19(1)
第5回	1月18日	「甘え」ってどんな時に使う言葉なんだろう?	菊竹智之(大阪大学大学院)	20(1)
第6回	3月15日	試される、とはどういうことか?	遠藤望実(大阪大学大学院)	18(1)
合計				103(7)

#### ◆多様な支援をする人のための対話の会

教員や市民団体で活動するスタッフ・ボランティアなど支援者向けの対話の会を、カフェフィロの協力をうけて9月より開催した。対人支援にかかわる悩みや考えを安心して発言できる空間で共有し、解決をはかる場とした。

<進行役は高橋綾さん(カフェフィロ)>

	実施日	参加者数(人)(うち外国人)
第1回	9月28日	7(1)
第2回	10月27日	7(1)
第3回	11月16日	5(2)
第4回	12月21日	9(2)
第5回	1月25日	8(2)
第6回	3月15日	7(2)
		43(10)

#### ◆インターン受入れ

大学名	受入れ者氏名	内容
大阪大学大学院 人間科学研究科	韓 珺	おまつり地球一周クラブの企画・運営、母語(中国語)アシスタントを中心に、多文化フェスティバルに関わる。
奈良女子大学	潘 英 峰	たぶんかミニとよなかの企画・運営、利用者アンケートの実施等を中心に関わる。

#### ◆‘UNLEARN’「あたりまえ」に対抗するひとづくりばづくり実践者セミナー

2008年から始められた「学びほぐし」シリーズを、特に3.11以降の自分たちの在り方を考え直すために、2011年に再開し今年度も引き続き実施した。これまで身に付けてきた既存の価値観や概念をいったんほぐして、そこから見えてくる社会や暮らしのあり方について講師と共に考える機会を持った。

第1回 11月23日 14:30~16:30	テーマ	とよなかの未来と多文化共生
	講師	若田光司/田中逸郎(豊中市副市長)
	参加者数	105人(うち外国人9人)
第2回 3月29日 15:00~17:00	テーマ	ある小児科医が診た『発達障害』Part2
	講師	松岡太郎(豊中市保健所保健予防課長)
	参加者数	41人(うち外国人3人)

## 5. 子ども国際事業

### (1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊びを通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。インターンシップの大学生やボランティアが外国

人講師と共に企画段階から準備を進めた。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2013年度は「おしらせ」表紙を担当する大阪府立池田高校美術部の生徒によるアートワークショップを開催するなど、地域に暮らすさまざまな人に関わってもらえたことができたため、国や地域を限定することなく多様なテーマを提供することができた。

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	4月21日	マイカップヌードルを作りに行こう!	19	12	3
第2回	5月12日	フィリピンを体感!	20	10	7
第3回	5月19日	子どもシアター①	16	14	14
第4回	6月16日	アートを楽しもう!	22	13	5
第5回	7月20日	子どもシアター②	22	12	1
第6回	7月21日	じゃらんじゃらんインドネシア	12	3	3
第7回	8月8日	子どもサイエンス①ペットボトルロケットとミニロケットで楽しもう!	44	29	2
第8回	8月18日	子どもシアター③	3	3	2
第9回	8月30日	ちゅうごくをたのしもう	29	17	2
第10回	9月29日	Viva!!ブラジル	23	13	3
第11回	10月20日	おいもを掘ろう!	24	8	7
第12回	11月24日	すきやねん♪ネパール	25	9	1
第13回	12月16日	ウクライナをしろう!	18	7	2
第14回	2014年1月26日	中国のお正月	38	18	18
第15回	2月23日	アートの世界へようこそ!	12	5	3
第16回	3月16日	エジソン電球をつくろう!	66	40	8
総合計			393	213	81

### (2) チョアチョアハングル講座

ハングル学習を通して一番近い国の文化を体験・学習するプログラムは「うきうきハングル」として地域に住む子どもたちに長年親しまれてきた。この数年は韓国出身の講師やボランティアの都合が合わず開催していなかったが、2013年度はおまつり地球一周クラブの中で、「チョアチョア(好き好き)ハングル」としてリニューアル開催した。今年度は5月～2月の毎月第4土曜に実施し、計9回開催した。〈指導者:朴忠奎〉

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	5月25日	自己紹介、ハングル文字を書く、名札づくり	24	15	7
第2回	6月22日	自己紹介、民族衣装を着てみよう	24	15	7
第3回	7月27日	絵本を読む	17	9	5
第4回	8月24日	料理を作ろう①	23	13	10
第5回	9月28日	歌って遊ぼう、南北コリア絵画展作品づくり	22	9	5
第6回	10月26日	体を使って楽しもう(国際交流と人権を考えよう Part II の中で)	30	20	11
第7回	11月30日	市場に行こう	16	11	3
第8回	2014年1月25日	料理を作ろう②(トック、ツナチヂミ)	22	12	5
第9回	3月1日	記念カードをつくろう	11	7	4
総合計			189	111	57

### (3) 韓国・朝鮮のこぼれとあそびのつどい

◆韓国・朝鮮のこぼれとあそびのつどい 〈民族講師(ソンセンニム):金生遵、柳敬修、姜正美〉

韓国・朝鮮につながるのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。

	日程	内容	参加者数(うち外国人)	先生(うちソンセンニム)
第1回	4月20日	実行委員ミーティング	5(4)	8(3)
第2回	5月18日	開講式・名札づくり・自己紹介	16(10)	11(3)
第3回	6月15日	ハングルの学習・在日史	12(12)	11(3)
第4回	9月21日	秋夕の祝祭紹介、楽器や踊りなどの練習	14(14)	14(4)
第5回	10月12日	サムルノリ練習・発表	5(5)	12(3)
第6回	11月16日	ウリマルカードをつくろう	10(10)	9(3)
第7回	12月21日	名節の民話(正月)・ユンノリ作り	11(11)	9(3)
第8回	1月18日	調理実習(チヂミ・トック)	13(13)	16(9)
第9回	2月15日	1年間の振り返り、文集作り	8(8)	8(3)
第10回	3月15日	修了式	19(19)	21(4)
合計			113(106)	119(38)
総合計			232(144)	

◆ハギハツキョ(夏期学校)

			子ども	先生(うちソンセンニム)
7月25,26日	小学生のハギハツキョ	豊中市立克明小学校	24	64(4)
7月31日、8月1日	ハギハツキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっばる	8	18(4)
		総合計	31	82(8)

## Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

### 1-1. おとなサポート事業

#### (1) 相談サービス

##### ◆相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談受付数:479件
毎週金曜日	11:00～16:00	
相談員	吉嶋かおり(臨床心理士)	
就労相談コーディネーター	岩田ユミ(社会福祉士)	
多言語スタッフ	中国語	張迪/賈晨
	韓国・朝鮮語	崔成姫/朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア/メネシオ・ライル・エスベランザ
	タイ語	ラビーバン・カンブンシュー
	ポルトガル語	中原田ブルーナ
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語	ピカ・イエステア・ギナンジャール

##### ◆相談件数

2012年度まで就労相談は、「在住外国人就労支援多言語スタッフ養成モデル事業」として自主事業で実施していたため、別集計していたが、2013年度から指定管理事業の相談サービスの一環としたため、集計を一元化した。就労相談を除いた相談件数は404件、前年度比約10%増で、過去5年の中では最も相談件数が多かった。相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、55.7%だった。「利用者」は、これまで豊中市民が70～80%を占め、圧倒的に多かったが、3年前より減少が続き、2013年度は、昨年とほぼ同様で58.3%だった(前年は53%)。また、「非利用者」は全体の55.9%だったが、そのうち豊中市民は53.7%だった。国籍はフィリピンが最も多く28.2%。次いで中国10.9%、韓国9.4%だった。2013年度は、南アジア、東ヨーロッパ各国からの相談が増加している。国籍は32カ国に及んだ。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は6件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは204件で、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは57件、15カ国語だった。在留資格は永住者が32.4%、次いで配偶者が15.2%だった。定住化した在住外国人からの相談が多い(55.3%)のは例年通りである。2013年度から職業を集計項目に入れた。多い順に、無職22.3%、パート・アルバイト16.1%、主婦12.1%だった。無職は生活保護受給者が多い。

<相談内容と件数>(1件の相談で複数の相談テーマがあるため、相談件数より母数は増えている)

大項目	件数	割合(%)	小項目 <カッコ内は全件に占める割合(%)>
夫婦関係	143	23.6	DV(12.3)、離婚(4.4)、親権・養育費(2.6)、不和・不満(3.8)、国際結婚(0.3)、その他(0.2)
手続き	69	11.3	在留資格など(8.9)、家族呼び寄せ(0.7)、養子(0.2)、その他(1.5)
生活	146	24	日常生活(6.1)、行政手続き(4.6)、住居(1.3)、日本語学習(5.4)、金銭問題(1.5)、交通事故(0.2)、その他(4.9)
保健	32	5.3	メンタルヘルス(1.8)、医療(1.5)、母子保健(1.8)、その他(0.2)
人間関係	20	3.3	家庭(1.2)、友人(0.5)、地域(1.2)、職場(0.3)、その他(0.1)
労働	111	18.3	求職(12.5)、就労定着上の問題(1.8)、失業・退職(0.3)、労災(0.2)、給料未払(0)、その他(3.5)
子ども	65	10.7	子育て(3.6)、学校(3.6)、保育所・幼稚園(1.0)、その他(2.5)
その他	21	3.5	人権侵害(0.2)、その他(3.3)

##### ◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は86件(18%)だった。機関連携で多いのは、外国人DV被害者への対応、生活保護受給者の家庭や生活上等の問題、就労相談、子どもの学校生活における問題に関するもの、外国人母と乳幼児への対応に関するものであった。

2013年度は、DVについては豊中市人権政策室と連携し、ケース検討会議をもち、支援体制がスムーズになるよう、情報の共有と対応の検討を行い、就労相談は、雇用労働課の地域就労支援センターと連携・協力した。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、雇用労働課、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	他市DV担当、他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉保健課、公立高校、大学
公的支援機関	子ども家庭センター、母子福祉支援施設
その他支援機関	とよなか若者サポートステーション、AMD、チャーム他支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、医師、協会事業ボランティア

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
6月22日、30日 7月6日	【外部研修】「通訳者・相談員スキルアップ研修」 講師:すべての外国人とその家族の人権を守る関西ネットワーク:RINK	12(12)
7月5日	ケース勉強会 講師:ファシリテーター:吉嶋かおり(相談員)	10(8)
9月20日	ケース勉強会 講師:ファシリテーター:吉嶋かおり(相談員)	10(8)
11月8日	豊中市社会福祉協議会の事業について 講師:勝部麗子(豊中市社会福祉協議会)	15(8)
2月14日	外国人労働問題と解決方法 講師:奥田慎吾(弁護士)	12(8)
合計		59(44)

◆外国人のための多言語セミナー

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に8言語逐次通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。

実施日	テーマ 講師	参加者数 (人)
11月15日	外国人のための防犯セミナー 講師:豊中警察署	33(22)
11月29日	日本で働くための基礎知識 講師:笹尾達朗さん(あったかサポート、社会保険労務士)	30(20)
12月6日	履歴書の書き方 講師:日本語支援グループ・むすびめ	25(18)
2月7日	確定申告相談会1 講師:和田税理士	13(12)
2月21日	確定申告相談会2 講師:和田税理士	15(14)
3月7日	親を楽しむ5つのスキル 講師:田上時子(NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西)	31(21)
3月23日	知ってる?こんなこと~生活に役立つ耳寄りな情報・生命保険と日本の冠婚葬祭について 講師:日本語支援グループ・むすびめ	12(4)
3月28日	子どもの塾の選び方 講師:韓文享(大阪市立御幸森小学校教員)	15(11)
合計		174(122)

◆地域連携

実施日	内容
4月17日	中心市街地活性化連絡会への参加
6月13日、2月27日	地域就労支援センターとのケースカンファレンス
6月26日	保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
8月6日	地域支援保育士例会への参加・情報提供
2月14日、3月28日	DVネットワーク会議ケース検討会議

◆フィリピン台風支援活動の実施(「多文化チャリティ・カフェ」「多文化チャリティ・コンサート」)

台風による被害をうけたフィリピンの子どもたちを支援するチャリティ・イベントを多言語スタッフが企画・運営。あわせてミニバザーや写真・記事の掲示をセンター内で実施し、受取寄付金やバザー品売上金 13 万円を公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付した。

第1回	11月11日 12:00~16:00	テーマ	多文化チャリティ・カフェ
		内容	お菓子・料理の販売
		参加者数	55人(うち外国人30人)
第2回	12月20日 18:00~20:00	テーマ	多文化チャリティ・コンサート
		講師	多言語スタッフ、日本語学習者、ボランティア、市関係者等によるステージ、宮城県南三陸町で活動するフィリピン人女性からのビデオレター上映、フィリピン人利用者による現地の被災状況についてのプレゼンテーション等。
		参加者数	103人(うち外国人60人)
合計			158人(うち外国人90人)

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業

2009 年度～2010 年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっもっつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

<日本語能力検定試験パーソナルサポート>

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。今年度は基本的に毎週火曜日の開催とし、試験日の3ヶ月前からの実施をおこなった。

参加者数	95 人(うち外国人 48 人)	
サポートのべ回数	47 回	
サポートのべ時間数	98 時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日 (同日に複数回実施もあり)	5 月	7、14、21、28
	6 月	4、11、18、25
	9 月	5、10、12、19、20、27
	10 月	4、8、10、11、15、17、18、22、25、29、31
	11 月	1、5、7、8、12、14、15、21、26、28、29

<その他の資格取得パーソナル・サポート>

就労・資格取得に向けた個別サポートも実施した。今年は通信教育による教職課程資格取得のためのサポートを実施した。

参加者数	20 人(うち外国人 7 人)	
サポートのべ回数	7 回	
サポートのべ時間数	12.5 時間	
内容	レポート作成のためのポイント指導・学習へのアドバイス	
実施日(同日に複数回実施もあり)	10 月 22 日、12 月 5、9、16 日、1 月 16 日、2 月 24 日、3 月 20 日	

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

参加者数	のべ 50 人(うち外国人 10 人)
実施日	6 月 17 日、7 月 22 日、9 月 30 日、10 月 28 日、11 月 19 日、11 月 25 日、12 月 16 日、2013 年 1 月 27 日、1 月 28 日、3 月 17 日

## 2. 子どもサポート事業

### (1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもや大人と接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語活動活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数(のべ人数):うち外国人 ボランティア登録者数(のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	44回	3人	子ども(44):うち外国人(44) ボランティア登録者数(113)
金曜日	10:30~12:00	47回	4人	子ども(315):うち外国人(293) ボランティア登録者数(144)
			合計	子ども(359):うち外国人(337) ボランティア登録者数(257)

#### ◆豊中子ども読書推進連絡協議会

豊中市が2005年3月「豊中市子ども読書活動推進計画」(「推進計画」)を、また具体的に推進するために、2006年8月に「子ども読書活動推進計画 実施計画」(「実施計画」)を策定した。11月に豊中市子ども読書活動推進連絡協議会が設置され、すべての子どもの読書環境を整備していくこととなった。国際交流協会もその一端を担い、特に「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループ(第2回会議より「小中学生グループ」との合同会議)に参加し、具体的な事業実施に協力した。「2007年度事業実施報告書」には、協会における子ども読書活動の取り組みが取り上げられ、読書活動において「外国人の視点」が、地域課題の一つとして認識された。

言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。また、今年度は読書活動を啓発する映画「じんじん」上映会の実行委員となり、市に協力して上映会(於:すてっぷホール)を開催した。

#### <ハード面での環境整備>

- ① 外国語絵本コーナーの整理、周知
- ② 市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

#### <ソフト面での環境整備>

- ① 外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)でのよみ聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ② 読書活動を啓発する映画「じんじん」上映会の実行委員となり、市に協力して上映会を開催した。

実施日(内容)	場 所
5月24日 (第1回会議)	岡町図書館
6月25日 (第1回ワーキンググループ会議)	岡町図書館
10月29日 (第2回ワーキンググループグループ合同会議)	岡町図書館
11月15日 (第2回会議)	岡町図書館
12月20日 「子どもを本をつなぐ地域交流会」	岡町図書館
1月29日 (第3回ワーキンググループグループ合同会議)	岡町図書館
2月13日 (第3回会議)	岡町図書館
映画「じんじん」実行委員会・上映会	3会場:10回上映
12月20日 実行委員会	岡町図書館
1月13日 実行委員会、試写会	岡町図書館
2月18日 実行委員会	国際交流センター
3月11日 上映会	すてっぷホール

#### ◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として今年は「しょうない・おやこでにほんご」ボランティアと参加者がサンバ・ワークショップ体験と世界の楽器・絵本の展示・体験コーナーを運営した。そして事業(おやこでにほんご、日本語交流活動、相談など)の広報をした。

### (2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学

生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜 第4日曜	2012年4月14日 ～2013年3月23日	10:00～12:00	83回	子ども(151)、親(32)、ボランティア(111) 総合計 294人(うち外国人 262人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)	
中国語	21	子ども 31	ボランティア 26
ポルトガル語	21	子ども 88	ボランティア 28
スペイン語	20	子ども 21	ボランティア 20
インドネシア語	21	子ども 11	ボランティア 37

<その他>

実施日	内 容	参加者数 (人)	合計
5月12日	【合同イベント】母の日 メッセージカード作り	子ども 9 ボランティア 5	14
6月23日	【合同イベント】ポルトガルのおまつり(フェスタ・ジュニーナ)	子ども 8 ボランティア 5	13
10月13日	【合同イベント】インドネシアの料理(ビジサラック)作り	子ども 1 ボランティア 6	7
1月26日	【合同イベント】中国の旧正月、切り絵作り	子ども 9 ボランティア 6	15
3月9日	【合同イベント】スペインの軽食(ロモ・サルタール)作り	子ども 12 ボランティア 6	18

(3) サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応が可能とした。今年度は「国際交流と人権を考えよう PART2」で子どもがやりたいことを形にしたダンス発表という初の試みを行った。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
毎週日曜	4月7日～3月30日	13:00～15:00	34	子ども (うち外国人)	279(242)
				ボランティア(うち外国人)	222(91)
				合計 (うち外国人)	501(333)

<その他>

実施日	内 容	参加者数(人)	合計
4月21日	一周クラブ(ラーメン記念館)に参加	子ども(4)、ボランティア(6)	10
6月9日	多文化ミュージカトル合同ワークショップ	子ども(5)、ボランティア(4)	9
8月4日	サンプレ遠足 於:キッズプラザ大阪	子ども(10)、ボランティア(7)	17
8月10・11日	全国外国人生徒交流会 (場所:横浜市野島青少年研修センター)	子ども(2)、ボランティア(1)	3
8月27日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ①	子ども(1)、ボランティア(3)	4
8月29日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ②	子ども(1)、ボランティア(3)	4
8月31日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ③	子ども(3)、ボランティア(4)	7
8月31日	サンプレイス/トワイライト 卒業生・ボランティア同窓会	子ども(3)、ボランティア(4)	7
10月26日	国際交流と人権を考えよう PART2 でダンス発表	子ども(2)、ボランティア(6)	8
10月27日	ハロウィンパーティー	子ども(4)、ボランティア(6)	10
	総合計		79

・千成小学校より協力依頼があり、「ミニせんなり」のアドバイザーとして参加した。

	実施日	時 間	内 容	参加者数(うちボランティア)
1	9月6日	10:45～12:20	第1回 子ども会議	5(4)
2	9月13日	10:45～12:20	第2回 子ども会議	5(2)
3	9月18日	13:25～14:10	第3回 子ども会議	7(5)
4	9月27日	10:45～12:20	合同会議	5(2)
5	10月4日	10:45～12:20	第4回 子ども会議	5(2)

6	10月11日	10:45～12:20	第5回 子ども会議	3(1)
7	10月15日	13:45～15:20	ミニせんなり(第1回本番)	4(2)
8	10月18日	10:45～12:20	子ども会議 振り返り	4(1)
9	10月22日	8:50～12:20	ミニせんなり(第2回本番)	0
10	10月25日	10:45～12:20	合同会議 まとめ	4(2)
総数				42(21)

◆子ども事業スタッフ・ボランティア研修

実施日	内 容(講師)	参加者数(人)
4月28日	外国にルーツをもつ子どもの現状と、協会の子ども事業について (講師:事務局長 金相文)	8
7月28日	レイシズムに対抗する関西集会	3
8月25日	テーマ:支援者としてのピアを考える (講師:柿本隆夫さん、チューブ・サラーンさん、劉麗鳳さん)	4
9月22日	月1回チャンゴワークショップ(講師:事務局長 金相文)	5
11月14日	門真なみはや高校公開授業見学	3
11月24日	バルーンアート講習会(講師:橋口孝幸さん)	8

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加者数
4月27日	セミナー「外国籍の子どもの教育～高校進学・卒業という壁」	ヒューライツ大阪	2
5月9日	豊中市外国人教育推進担当者会議	克明小学校	3
5月23日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	4
5月27日	豊中市立克明小学校 放課後子どもクラブ「地球一周クラブ」打ち合わせ	豊中市立克明小学校	1
6月15日	移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013	甲南大学岡本キャンパス	1
6月20日	池田市立呉服小学校 母国語教室の子どもたちのセンター見学	とよなか国際交流センター	8
6月30日	奈良・在日外国人保護者の会結成 20周年記念祝賀会	ホテル日航奈良	3
8月1日	第1回こども施策推進連絡会議 相談・支援専門部会	豊中市役所	1
8月9日、 10日	全国外国人教育推進協議会 生徒交流会	野島青少年研修センター (横浜市)	2
9月4日	第2回こども施策推進連絡会議 相談・支援専門部会	豊中市役所	1
10月19日	大阪府教職員組合教育研究集会	豊中市立野田小学校	1
10月28日	克明小学校 放課後子どもクラブ「地球一周クラブ」講師派遣	豊中市立克明小学校	1
11月13日	克明小学校 放課後子どもクラブ発表会	豊中市立克明小学校	1
11月26日	第3回こども施策推進連絡会議 相談・支援専門部会	豊中市役所	1
12月9日	克明小学校 放課後子どもクラブ「地球一周クラブ」見学	豊中市立克明小学校	1
1月18日	池田オリニモイム	池田市立呉服小学校	4
1月27日	克明小学校 放課後子どもクラブ「地球一周クラブ」 講師派遣	豊中市立克明小学校	2
2月2日	第19回 兵庫県外国人教育研究集会	神戸市立だいち小学校	2
2月15日	コリア国際学園 卒業式	コリア国際学園	2
3月6日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室修了式	池田市立呉服小学校	6

教育相談 合計 42 件

内 容	件数
学習支援	4
母語・母文化学習	1
日本語支援	11
進学/進路	10
就労	1
金銭問題	0
学校でのトラブル	7
家庭内のトラブル	2
保健	0
その他	6
合計	42

### Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

#### 1. 小学校英語外国語体験活動事業(豊中市教育委員会受託事業)

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校英語(外国語)体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した(2006年度より)。地域に暮らす外国人(サポーター)が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

##### ◆事業内容

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として英語(外国語)に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ① 教職員や子どもたちに、地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ② その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③ 学校に在籍する外国にルーツを持つ/外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐぐまれ、マイノリティの子どものエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取り組みをした。

##### ◆実施体制

<サポーター : 英語 26 人(13 か国)、その他の言語 30 人(10 か国・地域)>

英語体験活動のサポーターは、英語を第 1、第 2 言語または生活・学習言語としてきた者が中心であった。また英語以外の外国語体験活動サポーターは、自国のことばと共に、日本語または英語の能力を有する者であった。サポーターの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

##### ◆実施実績

サポーター数	56 人	
サポーター活動総時間数	1,253 時間	
体験子ども数	のべ 14,100 人	
英語サポーター国籍数	13 か国 26 人	
	内訳	フィリピン、タイ、オーストラリア、エクアドル、モンゴル、中国、バングラデシュ、インド、スリランカ、イラン、エジプト、インドネシア、米国
外国語サポーター国籍数	10 か国・地域 30 人	
	内訳	韓国、中国、スペイン、フランス、ベトナム、タイ、ブラジル、セネガル、ロシア

#### 2. 国際教育推進事業

##### ◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は 2005 年 8 月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市も一つとして、2008 年度までの 3 年の事業に取り組んだ。翌年度はそれを引き継ぐ型で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010 年度より再度「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2014 年 2 月 8 日に行われた国際教育フォーラムは、WebTV システムを活用した韓国・ニュージーランド・豊中市 & 気仙沼市(日本)の 3 か国子ども会議がもたれ、各国の学校現場での子どもたちの取り組み交流が行われた。また、各国の教育関係者により持続可能な開発のための教育(ESD)と国際教育について、活動紹介と問題提起がなされた後に、園田学園女子大学の堀田博史さんにより総論的なまとめがなされた。

##### ◆豊中市国際教育推進協議会等の開催について

協議会の開催 3 回

第 1 回 6 月 20 日 取り組みの方向性 年度計画 実務機関の設置、日本語指導に関する調査

第 2 回 11 月 1 日 実務担当者会からの報告 2013 年度豊中市国際教育フォーラムについて

第 3 回 3 月 25 日 国際教育フォーラム報告 実務担当者会からの報告

実務担当者会(日本語指導)4回

第 1 回 7 月 4 日 目的の確認 帰国外国人児童生徒の日本語習得状況調査 年度計画

第 2 回 8 月 27 日 日本語指導に関する調査①(調査項目・対象者・方法・スケジュール等)について

第 3 回 10 月 3 日 日本語調査①先行実施要項(案)について

第 4 回 12 月 19 日 調査①の分析と課題、分析結果の通知と調査②の依頼

◆2013年度 2/8 国際教育フォーラム3か国こども会議(於:大阪大学豊中キャンパス)

実施日時	2月8日 9時20分～12時15分	
フォーラム	テーマ	「つどう・つながる・つちかう 未来への行動力 豊中型国際教育」 ～つながる世界、創ろう未来 3か国こども会議～
各国の研究報告	研究テーマ	「ESD 実践ガイドの充実及び協働学習に至る経過説明」
	機関名	豊中市教育委員会(日本)
	研究テーマ	「メンテナンスリサイクル」
	学校名	ノースロバーンスクール(ニュージーランド)
	研究テーマ	「心をひとつに進行する教育課程で行うESD」
	学校名	虎元初等学校(韓国)
「3か国こども会議」	内容 交流形態	【環境(エネルギー・食糧・ごみ問題)リサーチワークから】 フレンドシップ協働学習(WebTV 会議システムを活用した日本国内2か所、韓国、 ニュージーランドの4拠点を結ぶ会議
	学校名 (生徒数)	豊中市立第二中学校生徒(2名)、気仙沼市立松岩中学校生徒(2名)、韓国:虎元 (ホウォン)初等学校生徒(3名)、NZ:アンダーソンズベイスクール生徒(4名)
参加者数	160人	

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

<豊能ブロック協議会構成団体> 計22団体

大阪府教育委員会	豊能地区在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
箕面市教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
能勢町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能町教育委員会	豊能町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
池田市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
豊中市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
箕面市進路保障協議会	大阪府在日外国人教育研究協議会
豊能郡進路保障協議会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会

豊能ブロック「多言語による進路ガイダンス」	
実施日時	11月9日 13:00～16:00 ※13:00～14:00 進路説明会 ※14:00～14:20 先輩体験談 ※14:30～16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	77人
内訳	生徒 8人/保護者 11人/通訳者 11人(6か国) 関係者 45人/先輩 2人

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1)とよなか子ども日本語教室

2010年度に始まったとよなか子ども日本語教室から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなかJSL・行政の3者協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業」(「こどもにほんごプロジェクト」)が3ヶ年計画として始まった。協会は、指導者(ソフト面)の育成、学校や市教委等との連携のもと支援体制(ハード面)を推進した。

◆子どもの日本語指導者養成講座

実施日	内 容	講 師	参加者
第1回 7月13日 13:30～17:30	「日本語指導が必要な子どもの状況」 「日本語指導実践の前に知っておくこと」	亀谷智(豊中市教育委員会 人権教育室)/金 生遵(豊中市教育委員会 渡日帰国児童生徒 相談室)/田中薫(とよなかJSL)/山本房代(と よなか国際交流協会)	13人
第2回 7月20日 10:00～17:45	「小学校低学年の日本語指導の実際・指導上の工夫」 「小学校高学年の日本語指導の実際・指導上の工夫」 「教科学習に結びつく日本語学習」	宮阪蓉子(大阪市教育委員会日本語指導協力 者、「とよなかこども日本語教室」アドバイザー) 田中薫(とよなかJSL)	14人

◆とよなかこども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週3回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に綿密なミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの継続的なかわりのなかで指導力が向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。2013年度は、養成講座終了後新たに2人のボランティアが加わり、指導者の層も厚みを増してきた。また、日本語学習相談は37件と前年度の倍以上の件数となった(前年度16件)。

実施日	毎週月曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週木曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週土曜 14:00~16:00
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2013年4月8日~2014年3月22日
回 数	128回
参加者数	子ども(のべ937人)、ボランティア(のべ1,135人)
	見学者(のべ7人)
日本語学習相談	37件

◆支援者意見交換会

例年「支援者セミナー」と題し、外国にルーツをもつ子どもや乳幼児に関わる学校関係者にセミナーを行ってきた。今年度は講義形式ではなく、子どもに関わる関係者の意見交流を目的とした「意見交換会」の形式で実施した。参加者は、学校現場や日本語教室での様子を共有し、今後の日本語指導に向けての対応などを確認した。

実施日	テーマ・参加者	参加者数(人)
2月17日	外国にルーツをもつ子どものことばと発達 指導者意見交換会	18人
	「子ども日本語教室」に通う子どもに関わる学校関係者、日本語指導者グループ 「とよなかJSL」、豊中市教育委員会、とよなか国際交流協会	

(2)たぶんかミニとよなか

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一同につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。9回目を迎える2013年度は、大学生ボランティアの企画・運営のもと、子どもたちによる子どものまちづくり「たぶんかミニとよなか」の活動に取り組んだ。教員、支援者、保護者向けには、国際教育ワークショップ、インターナショナル・カフェ、を実施した。

ミニとよなか	学生スタッフ会議	9月29日、10月27日、12月1日
	内 容	こども会議に向けての下準備、材料収集など
	参加者数	計15人(9/29 4人、10/27 6人、12/1 5人)
	ミニとよなか子ども会議	
	実施日	11月10日、17日、24日
	内 容	11月10日:アイスブレイク、コンセプトの説明 11月17日:コンセプト班、レイアウト班、ブース班に分かれて作業 11月18日:コンセプト班、レイアウト班、ブース班に分かれて作業、お金づくり
	参加者数	11月10日(19人:うち子ども14人、ボランティア5人) 11月17日(28人:うち子ども12人、ボランティア16人) 11月24日(20人:うち子ども12人、ボランティア8人)
多文化フェスティバル	12月8日(日) 10時~16時	
場 所	2ABC(国際教育ワーク)、CCスペース(インターナショナルカフェ)、すてっぷホール(たぶんかミニとよなか)	
(参加人数)	多文化フェスティバル(240人、うち外国人100人)	
<テーマ:内容> 講 師	<国際教育ワークショップ:内容:「たまごのワークショップ」> 講 師:伴野多鶴子さん(地域教育推進協議会連絡会会長)	
	<インターナショナル・カフェ:内容:外国につながるある保護者の交流会、絵本の読み聞かせ> 講 師:豊中市国際教育推進協議会	
	<たぶんかミニとよなか:内容:多文化なこどもによる、こどものまちづくり>	

◆南北コリアと日本のともだち展

2001年北朝鮮で起きた飢餓問題を受けて、「21世紀を平和の世紀としたい」という願いのもとに、日本と朝

鮮・韓国・在日コリアンの子どもたちの出会いと交流の場として「ともだち展」が東京で始められた。2011年、大阪で実行委員会形式でこの「ともだち展」を大阪国際交流センターならびにとよなか国際交流センターで開催し、今年度は3回目の大阪展であった。今回の絵画展は「ともだちと一緒にいきたいところ」をテーマであった。

今年度は協会から韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい実行委員会に呼びかけ、ハギハッキョ(夏期学校)において朝鮮半島にルーツを持つ子どもたちに絵画の作成をしてもらった。また、協会事業(子ども母語、サンプルイス)に参加する子どもたちにも声掛けをし、作成してもらった絵画を多文化な子どもたちの絵として、とよなか展、大阪展ともに展示した。とよなか展は豊中市の人権月間に合わせて12月1日～12月9日にかけて開催し、のべ1,770人(うち外国人664人)の来場があった。

実行委員会	6月13日、7月26日、9月9日、10月7日、11月6日、1月20日(計6回)		
メンバー	(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局、エリーニ・ユネスコ協会 国際教育フォーラム、大阪市小学校教育研究会国際理解教育部会 大阪ユネスコ協会、(公財)大阪YWCA、関西韓国YMCA 堺ユネスコ協会、(特活)コリアNGOセンター 在日韓国基督教会館(KCC)、在日コリアン青年連合(KEY) (公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会		
大阪展	11月22日～11月24日	展示枚数	227点
場 所	大阪国際交流センター	参加者数	406人
豊中展	12月1日～12月10日	展示枚数	100点
場 所	とよなか国際交流センター	参加者数	1,770人(うち外国人664人)
子どもワークショップ	①11月23日 ②12月8日		
場 所	①大阪国際交流センター ②とよなか国際交流センター		
内 容	①浜田桂子さんの絵本『みんなでパレード』 ②こどもがつくるこどものまち「たぶんかミニとよなか」 ※多文化フェスティバル時に絵画展の子どもワークショップとして開催		
参加者数	① 24人 ②80人		
講演会:場所	11月24日		
場 所	大阪国際交流センター		
テーマ(講師)	東アジアの平和構想 -市民の役割(朴一さん<大阪市立大学教授>)		
参加者数	20人		

### (3)多文化子どもエンパワメント事業

#### ①外国にルーツを持つ若者支援

(文化庁受託事業【平成25年度『生活者としての外国人』のための日本語教育事業】「外国にルーツをもつ若者の生活力・表現力アップ日本語事業」)

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」を対象に様々な講座や活動を行うと共に、地域における外国にルーツをもつ若者の現状把握や関係機関のヒアリングなどを実施した。具体的には、「Ⅰ.ユース☆ライブプランニング日本語講座～外国にルーツを持つ若者応援プロジェクト“よっぷろ”～」、「Ⅱ.ユース☆対話・メディア日本語講座」の中で複数の講座を実施した。

#### ◆事業運営委員会

実施日	2013年6月26日、11月18日、2014年3月17日(計3回)
メンバー	豊中市教育委員会 人権教育室 豊中市教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 豊中市教育委員会 青少年育成課 豊中市 市民協働部 雇用労働課 豊中市 人権文化部 人権政策室 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教

#### ◆Ⅰ.ユース☆ライブプランニング日本語講座～外国にルーツを持つ若者応援プロジェクト“よっぷろ”～

##### ①「～生活まるごと～よみかき講座」

生活に必要な日本語の「読み」と「書き」を中心に、若者が興味を持ちやすい身近なテーマに沿って体系的に学習した。(場所はとよなか国際交流センター)

【テーマの例】ひらがなカードの作成、カードを使ったひらがなの覚え方/頼み方・「すみませんが、～してください

い。」動詞のテ形／自分の考えを話す。～と思い増す。～と考えます。／年賀状づくり・日本の行事等

実施日／期間	毎週土曜 11:00～13:00／2013年6月29日～2014年3月15日
対象	外国にルーツをもつ若者
回数	72回
参加者数	若者 のべ133人（うち外国人133人）
	講師 のべ104人

### ②「～からだところの～フリーダム日本語講座」

若者の「からだ」と「ところ」をテーマに、性に関する情報や知識、交際、子育て、芸術・スポーツに関する日本語講座を行った。多感な時期であり社会に出て行く過程にある若者が、興味関心にあった日本語を学びながら、地域社会とつながるきっかけをつくることを目的とした。

さらに、ピア（同じ仲間）でありロールモデル（目標となる人）となる外国にルーツをもつ若者にゲストやアドバイザーとして参加してもらうことで、進路や生活に関する悩み・疑問が共有されやすい場づくりを目指し、気軽に話の出来る場（「語ろう会」や「同窓会」）、居場所（「たまりば」）などをもうけることで、若者同士の交流や多様な人々との出会いの場を創出した。（場所はすべてとよなか国際交流センター）

日程・期間	タイトル	内容	人数
8月25日	「ピアサポーター・ボランティアの役割って…？ざっくばらんに語ろう会」	横浜で活動をする外国人当事者団体“すたんどばいみー”のメンバーと、その活動を長く見守っている中学校校長の柿本先生を囲んでの座談会	若者 15人（うち外国人10人） 講師 4人（うち外国人3人）
8月31日	「サンブレイス・トワイライト 卒業生・ボランティア 同窓会」	協会事業の柱の一つで外国にルーツをもつ子どもの居場所として継続しているサンブレイス・トワイライトの同窓会	若者 16人（うち外国人14人）
11月30日、 12月8日	「多文化お料理講座」	若者たちが、自らのルーツにつながる料理づくりを通じて仲間や先輩と出会う。また、料理を提供する際の調理の計画づくりや当日の流れなどを考える中で企画力を身につける。	若者のべ13人（うち外国人13人） 講師のべ9人（うち外国人7人）
1月31日	「しっておきたい！健康と心とダイエット & 無料相談会」	健康とダイエットについての基礎知識と健康相談会	若者、センター利用者 40人（うち外国人38人） 講師1人（うち外国人1人）
1月26日、2月9日、2月16日	「サムルノリを体験しよう」	韓国朝鮮の伝統楽器4種を用いたパーカッションアンサンブル「サムルノリ」についての講義、練習、発表。	若者のべ51人（うち外国人42人） 講師1人（うち外国人1人）
12月21日～3月16日	「多文化ダンス教室」 毎週木曜日 18:00～20:00、毎週日曜日 10:00～12:00／	外国にルーツをもつ若者がダンスを通じて仲間や多様な人々と出会い、自分自身を表現することに自信をもつことを目的としたダンス教室。	18回：若者 のべ176人（うち外国人158人） 講師・アシスタント のべ47人（うち外国33人）
1月16日～3月20日	「たまりば」 毎週木曜日 18:00～20:00	外国にルーツをもつ若者が、仕事帰りや学校帰りに気軽に参加できる居場所づくり。	10回：若者 のべ97人（うち外国人73人）

### ③まちを知る！しごとを知る！しゃかいをしる！日本語講座

地域で若者支援・就労支援を行っている団体、地域に根差した企業、行政関係部署などから、若者が活用できる「まち」の資源（公共施設や交通機関、病院等）、「しごと」へのアプローチ（会社や工場等）などを日本語学習を通じて学んだ。さらに、日本社会や日本のマナー、将来についての夢や仕事についてを語り合うことで、日本社会で生きていくことの展望を持てるような機会を設けた。（場所はすべてとよなか国際交流センター）

日程	タイトル	内容	人数
10月5日	「農家の仕事を知らう」	福島県の果物農家の方を招き、農家の仕事についてや働くことについて語り合った。	若者8人（うち外国人7人） 講師3人（うち外国人1人）
2月13日	「“若者の居場所”について考える」	“若者居場所工房・ぐーてん”の取り組み内容・居場所作りの問題点・課題・展望等を意見交換した。	若者6人（うち外国人6人） 講師1人（うち外国人0人）
3月1日	「おしごとカフェ」	仕事、将来、夢について、堅苦しくない場で語り合った。	若者、センター利用者 4人（うち外国人4人） 講師1人（うち外国人0人）

## ◆ II. ユース☆対話・メディア日本語講座

本講座では、若者たちがピアである受講生同士での「対話」活動を通して、人間関係の構築や拡大を目指し、メディア制作を通して自己表現ができるようにした。そして若者の声が引き出されることにより、これまで潜在的であった若者の課題をさまざまな関係機関に認識されていく素地をつくった。講座は、声のメディアを扱う「ラジオ講座」とそのほか広く対話や表現、メディアに関することを扱う「対話・メディア講座」の2講座をもうけた。

### ①ユース・ラジオ講座

ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、実際に自分のオリジナル番組を計画することで、新しい発信の仕方、表現の仕方を知る。また、自分自身で番組制作、発信など一連のプロセスを経ることで自信をもって自分の意見や想いを表現することが出来た。

実施日	2013年7月14日、7月20日、8月24日、9月1日、9月15日
場 所	とよなか国際交流センター
内容一例 (実施日)	初めて出会う人たちに自分を紹介をする、ラジオ番組の内容や制作について、まず自分でイメージやアイデアを考え、他の参加者に伝える。(7月14日)／ キューシートの書き方を知り、実際に自分の理想の番組のキューシートを書く、キューシート通りに番組をつくり、録音する。(9月1日)
参加者数	若者 のべ23人(うち外国人23人) 講師 のべ7人(うち外国人4人)

### ②ユース対話・メディア講座

「対話」「表現」「製作」についてそれぞれ講座をもうけ、自分自身を語ることや語りたい想いを言葉にすること、メディアを含む多様な表現方法を介して表現を行うことを学んだ。

実施日	10月6日/13日/20日/26日、11月10日/17日/23日、12月15日、1月12日/13日/25日/26日、 2月2日/6日、3月16日
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2013年10月6日～2014年3月16日
回 数	31回
内容一例 (実施日)	【対話講座】わたしを語ろう①：自分自身の現状、心のうちについて言葉にする練習(10月6日)／ 【表現講座】「ことば」について語ろう①：「対話講座」「表現講座」で行ってきたことを振り返りながら、「ことば」のもつ意味や表現のバリエーションについて考える。(12月15日)／ 【製作講座】メディア表現で伝えよう③：これまでの講座で話し合われたことをもとに、製作に関するプロセスをシミュレーションする。撮りたい作品に関わる人々へのアポイントメント、調整などをおこなう。(1月26日)
参加者数	若者 のべ186人(うち外国人186人) 講師・アシスタント のべ69人(うち外国人28人)

### ② 多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト (てーげー部) (公益財団法人庭野平和財団助成事業)

外国人の定住化や国際結婚、日本国籍取得などの増加により、日本生まれ・日本育ち、ダブルの子ども、日本国籍の子ども、また母国と日本を往来する子どもなどが増えており、生育環境、家族形態、国籍や名前など、多種多様な「外国につながる子ども・若者」が存在している。しかし、「外国につながる子ども・若者」は、国籍・民族・ことば・文化等がひとつに固定されず、特定の活動や枠組みに当てはまらないがゆえに、不安定なまま潜在化する傾向にある。このような外国につながる子ども・若者たちが映像作品の制作を通して、多様な文化の織りなす自分自身を積極的にとらえ、さまざまな形で発信方法を身につけ、これまでの特定の「枠組み」をいったん捨て、「日常」からスタートしようと表現活動に取り組み、出会いの場を創造することを目的として実施した。

「ハーフ」「ダブル」「混血児」「外国人」等についてのイメージや価値観をメディアから一方的に「与えられる」のではなく、自らが表現し発信者となるための方法や力を獲得し、マジョリティ社会へ価値観の問い直しを発信することも目指した。そのために、2013年度は昨年度制作の映像作品『ナニジン？—トモダチ作戦—』(10分)の上映会や講演会を豊中市内外で行うと同時に、次回映像作品の製作にむけて勉強会や企画構想、撮影を行った。

#### ◆映像作品名：『ナニジン？—トモダチ作戦—』(放映時間10分)

内容：「ダブル、ハイブリッド、クォーター、混血児？ 同じ悩みを語る人がみつからない、居場所がみつからない そんなあなたを待っています。この映像は、出発点です。一緒にこの続きをつくりませんか？」

会 議 (参加者数)	7月7日(5人)、7月14日(2人)、7月21日(3人)、7月28日(1人)、8月18日(5人)、8月25日(3人)、8月27日(5人)、9月1日(3人)、9月15日(11人)、9月29日(8人)、1月9日(1人)、1月11日(1人)、計12回(のべ48人)
撮影・編集 (参加者数)	撮影合宿(沖縄県) 2月9日～11日(10人) 2月8日(5人)、3月30日(7人)、計3回(のべ22人)
上映・ 対外関係	① 2013年8月27日 豊中市立環境交流センター主催「豊中エコここTV」出演 ② 2013年10月26日「国際交流と人権を考えようパート2」上映会と意見交流会

	③ 2013年10月31日 府立桜塚高等学校(豊中市)にて上映会・講演会 ④ 2013年11月17日 文京学院大学(東京都)学生にむけての上映会と意見交流会 ⑤ 2014年1月13日 豊中市成人式「20フェスタ」
場 所	①豊中市立環境交流センター／②④とよなか国際交流センター／③桜塚高等学校／⑤青少年の家いぶき

## IV. 施設管理受託事業

### ◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流・男女共同参画目的利用の市民や一般利用者に対して、公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数(前年度比)	46,946人(3485人減)
全利用者のうち外国人の利用者数(前年度比)	13,481人(1551人減)
年間貸室件数	5,235件(14件増)
国際交流目的での貸室件数	4,238件(81.0%)

### ◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務(豊中市からの受託)の施設貸出業務について

#### ① 2013年度(2013年4月～2014年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率

月	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	379	2,921	774
5月	26	386	3,268	928
6月	26	427	3,883	1,102
7月	26	412	3,365	891
8月	27	403	3,000	654
9月	26	502	4,634	1,091
10月	26	531	5,524	1,734
11月	26	456	4,034	1,183
12月	24	438	4,261	1,417
1月	24	402	3,452	1,097
2月	24	444	4,393	1,332
3月	27	455	4,211	1,278
合計		5,235	46,946	13,481

#### ② 2013年度(2013年4月～2014年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率 (単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	41	42	41	36	34	46	45	43	39	37	39	45	488
	使用率	52.6	53.8	52.6	46.2	42.0	59.0	57.7	55.1	54.2	51.4	54.2	55.6	52.8
会議室2A	件数	38	39	39	39	47	42	43	45	42	33	35	40	482
	使用率	48.7	50.0	50.0	50.0	58.0	53.8	55.1	57.7	58.3	45.8	48.6	49.4	52.2
会議室2B	件数	38	46	44	40	49	48	53	48	43	36	39	39	523
	使用率	48.7	59.0	56.4	51.3	60.5	61.5	67.9	61.5	59.7	50.0	54.2	48.2	56.6
会議室2C	件数	41	45	47	46	44	48	54	51	47	41	44	54	562
	使用率	52.6	57.7	60.3	59.0	54.3	61.5	69.2	65.4	65.3	56.9	61.1	66.7	60.8
会議室3	件数	31	34	35	31	25	38	43	42	37	33	36	39	424
	使用率	39.7	43.6	44.9	39.7	30.9	48.7	55.1	53.8	51.4	45.8	50.0	48.2	46.0
会議室4	件数	45	49	52	47	42	54	56	55	55	47	49	53	604
	使用率	57.7	62.8	66.7	60.3	51.9	69.2	71.8	70.5	76.4	65.3	68.1	65.4	65.5
会議室5	件数	48	44	50	51	43	52	55	48	50	48	45	44	578
	使用率	61.5	56.4	64.1	65.4	53.1	66.7	70.5	61.5	69.4	66.7	62.5	54.3	62.6
料理室	件数	14	11	13	24	14	22	27	20	28	26	24	30	253
	使用率	17.9	14.1	19.0	30.8	17.3	28.2	34.6	25.6	38.9	36.1	33.3	37.0	27.4
音楽・健康 づくりルーム	件数	35	35	36	35	38	51	55	40	39	40	46	39	489
	使用率	44.9	44.9	46.2	44.9	46.9	65.4	70.5	51.3	54.2	55.6	63.9	48.2	52.9
和室	件数	7	4	12	8	5	32	24	5	6	3	15	10	131
	使用率	9.0	5.1	15.4	10.3	6.2	41.0	30.8	6.4	8.3	4.2	20.8	12.4	14.2
プレイルーム1	件数	24	23	29	25	23	30	32	28	26	23	26	30	319
	使用率	30.8	29.5	37.2	32.1	28.4	38.5	41.0	35.9	36.1	31.9	36.1	37.0	34.5
プレイルーム2 A	件数	10	7	15	17	22	20	23	18	15	19	24	19	209
	使用率	12.8	9.0	19.2	21.8	27.2	25.6	29.5	23.1	20.8	26.4	33.3	23.5	22.6
プレイルーム2 B	件数	7	7	14	13	17	19	21	13	11	16	22	13	173
	使用率	9.0	9.0	17.9	16.7	21.0	24.4	26.9	16.7	15.3	22.2	30.6	16.1	18.7
総件数		379	386	427	412	403	502	531	456	438	402	444	455	5235
開館日数		26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
使用率		37.4	38.1	42.1	40.6	38.3	49.5	52.4	45.0	46.8	42.9	47.4	43.2	43.6

③ 2013年度(2013年4月～2014年3月) 国際交流目的 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	39	40	34	32	30	39	43	38	36	31	37	38	437
	使用率	50.0	51.2	43.6	41.0	37.0	50.0	55.1	48.7	50.0	43.1	51.4	46.9	47.3
会議室2A	件数	37	38	36	35	46	42	42	40	41	32	35	39	463
	使用率	47.4	48.7	46.2	44.9	56.8	53.9	53.9	51.3	56.9	44.4	48.6	48.2	50.1
会議室2B	件数	34	42	37	39	45	43	47	42	41	36	37	39	482
	使用率	43.6	53.9	47.4	50.0	55.6	55.1	60.3	53.9	56.9	50.0	51.4	48.2	52.2
会議室2C	件数	40	44	45	45	44	47	52	48	46	40	43	50	544
	使用率	51.3	56.4	57.7	57.7	54.3	60.3	66.7	61.5	63.9	55.6	59.7	61.7	58.9
会議室3	件数	29	34	33	30	23	32	41	40	37	30	33	36	398
	使用率	37.2	43.6	42.3	38.5	28.4	41.0	52.6	51.3	51.4	41.7	45.8	44.4	43.1
会議室4	件数	44	49	52	46	42	51	56	54	55	46	48	51	594
	使用率	56.4	62.8	66.7	59.0	51.9	65.4	71.8	69.2	76.4	63.9	66.7	63.0	63.2
会議室5	件数	45	40	42	48	43	45	49	44	48	46	41	40	531
	使用率	57.7	51.3	53.9	61.5	53.1	57.7	62.8	56.4	66.7	63.9	56.9	49.4	57.5
会議室総件数		268	287	279	275	273	299	330	306	304	261	274	293	3449
開館回數		26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
会議室使用率		49.1	52.6	51.1	50.4	48.2	54.8	60.4	56.0	60.3	51.8	54.4	51.7	53.3

④ 使用料の収入の状況:

とよなか国際交流センター使用料(平成25年(2013年)4月～平成26年(2014年)3月納付分)

計 1,852,820円

◆イベント「国際交流と人権を考えよう」「東北復興支援バザー」の開催および登録グループの成果発表の場づくり  
2013年度も、協会の活動や存在を発信していくと同時に、市民の社会課題への関心を深めるきっかけとして、「国際交流と人権を考えよう」のイベントを2回開催した他、東北復興支援バザーを開催した。このイベントの中で、センターで活動する登録グループに成果発表の機会およびバザーを通じた資金調達場の場を提供した。

実施日時	9月7日 13:00～16:30・8日 10:00～16:00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	1,400人
内容	<国際交流と人権を考えよう Part1> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・朴一さん講演会「多文化共生”ってなんでんねん” ・外国人によるエスニックカフェ ・福祉のお店コーナー ・お茶の会等 ※売上の一部は東北復興支援のため寄付				
実施日時	10月6日 10:00～16:30	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	900人
内容	<東北復興支援バザー>・登録グループおよび協会事務局によるバザー				
実施日時	10月26日 10:00～16:30	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	1,000人
内容	<国際交流と人権を考えよう Part2> ・福島県の農家による果物直送販売 ・協会ボランティア、市関係者、外国人利用者等によるステージ発表(多文化ミュージカル、JFC ドキュメンタリー映画上映会、バンド演奏等) ・事業ボランティアによる東北復興支援バザー ・外国人によるエスニックカフェ、等				

※復興支援義援金 「国際交流と人権を考えよう」パートⅠ、パートⅡおよび東北復興支援バザーで、合計20万円が東日本大震災緊急・復興支援をおこなっている公益財団法人国際開発援助財団に寄付された。

◆視察受け入れ等

日時	受入先	受入人数(うち外国人)
5月30日	関西大学社会学部 草郷孝好ゼミ	14(0)
6月20日	池田市立呉服小学校 母国語教室	9(5)
6月27日	大阪府識字・日本語担当者会議	20(0)
7月4日	大阪教育大学 留学生科	7(6)
8月3日	沖縄市役所、沖縄市国際交流協会	2
8月5日	特定非営利活動法人あつとすくーる	1
8月12日	大阪市民局人権室	3

9月3日	第三者評価委員 市民委員	1
9月6日	公明党議員団	4(1)
9月6日	第三者評価委員 市民委員	1
9月12日、20日	豊中市職員2年目研修	10
9月17日	高崎健康福祉大学 人間発達学部/大阪大学 人間科学研究科	2
10月24日	大阪女学院大学(人権教育の授業)	20(3)
10月29日、11月5日	公益財団法人 箕面市国際交流協会	5(3)
11月19日	さいたま市民民主党議員団	3
11月19日	大阪大学 未来戦略機構第五部門	1
12月17日	大阪大学 未来戦略機構第五部門	1
2013年1月30日	NHK 大阪	1
2月14日	豊中市立克明小学校4年生	60
2月6日	東大阪国際共生ネットワーク	9
2月21日	財団法人たんぼぼの家	1
3月7日	東洋大学福祉社会開発研究センター	1
3月27日	群馬大学医学部保健学科	4
合計		177(18)人

◆「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験 豊中市立中学校の受入れ  
計2校、4人を受け入れ(第三中学校、第十一中学校より、各校2人ずつ)

◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を2月22日に例年通り開催し、今年度の成果や課題について発表した(参加者63人、うち外国人18人)。また、今年度は終了後にボランティア交流会を開催した(参加者46人、うち外国人18人)。

◆その他

豊中市との共催事業として、「カンボジアー日本 国交60周年写真展『HIVが奪った家族 つないだ絆～カンボジアー日本・国交60年もうひとつの国際交流』」を11月14日～11月26日に開催した。(主催:在大阪カンボジア王国名誉総領事館/共催:豊中市、公益財団法人とよなか国際交流協会)

## V. その他

### ◆みんなでデザインする「協会(組織)・活動(人びと)・センター(公共空間)」の5年(通称“デザイン5”)

指定管理を受けた5年間、協会に関わる人々が知恵を出し合い、活動や協会をいっそう活性化させるため、2013年度は、昨年度から始めた①協会事業を広く知ってもらうための「広報」、②活動の垣根を越えた対話の場づくり「さんかふえ」、③外国人が主体となってつくる公共空間づくり「C.C.カフェ」に④東日本大震災について考えつづける機会の提供「東北復興支援」、⑤2013年秋の協会設立20周年に向けたイベントなどの企画「ハタチ」の5つの取り組みを行った。1年間の取り組みをまとめ、2月22日の事業評価会で協会関係者に配布し、報告した。

また、これまでに協会が実施した活動を評価いただき、次のような表彰を受けた。

- ・憲法記念日功労賞(国際交流部門)大阪府知事賞(5月)
- ・第13回大阪弁護士会 人権賞(1月)

#### ① 広報

協会の活動や協会の存在を広く社会に発信するため、ネット広報の強化に取り組み、ソーシャルネットワーキングサービスでの情報発信(Facebook)をほぼ毎日実施した。プレスリリースを毎月発行したり、地元のケーブルテレビに出演することにより、ネット以外のメディアへの情報発信・情報提供にも取り組んだ。

重点的な取り組み	内 容
ホームページでの発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語ニュースレターに掲載した情報(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語)を、ホームページの多言語ページにも掲載し、外国人向けに協会に関する情報を発信した。</li> <li>・センターおしらせと多言語ニュースレターをPDF化してホームページからも閲覧を可能とした。</li> </ul>
Facebook等、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の利用	Facebookを利用して、活動報告やイベント告知などをほぼ毎日行った。毎朝、その日の協会事業を“本日のATOMS”として紹介して、写真や動画などをアップし、よりわかりやすく伝える工夫を行った。
ケーブルテレビなどの活用	イベントの際に、ケーブルテレビの番組にスタッフが出演して告知を行った。

#### ② さんかふえ

立場や活動の垣根を越えた対話の場である。1回2時間、テーマを決めずに参加者とともにその日の活動内容を決める対話の場を月に一回設定。3年目となった2013年度は、協会事業に関わるボランティア、外国人学習者らにも積極的にさんかふえを周知し、様々な活動から多くの参加があった。(共催:大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室)

	実施日	内容(その日に話されたこと)	参加者数(うち外国人)
第1回	4月20日	子どもの頃嫌いだっもの/休みの日は何をしていますか?/好きなキノコは?	14人(3人)
第2回	5月25日	5月病になった時はどうする/一人の時に何をしています?/日本に住んでいいなと思うこと	9人(5人)
第3回	6月13日	子どもの頃に好きだった遊び/いまだに怖いものは?/夏に食べたいもの?	12人(4人)
第4回	7月6日	手に入れたいもの/ちよっただけ変わるなら?/生まれ変わったら何になりたい?	11人(2人)
第5回	8月26日	今日の自分のタイトル/元気の出る食べ物/怒られたことありますか	6人(3人)
第6回	9月27日	違和感あるなあとと思った場面/風邪の時にしてもらおうと嬉しいこと等	7人(1人)
第7回	10月26日	ゆめ/許せないこと/あなたのヒーロー、ヒロイン	7人(0人)
第8回	11月21日	違和感を感じた時は?/最近ドキッとしたこと/冬の好きなどころ	7人(2人)
第9回	12月19日	チャームポイントはどこ/お正月にすること等	8人(3人)
第10回	1月30日	振り返り	4人(1人)
第11回	2月27日	今痛いところ/好きな時間帯/忘れられない人	7人(1人)
第12回	3月21日	センターで見つけたものは何ですか/お花見で食べたいもの/何か卒業したいこと	6人(0人)
		合 計	98人(25人)

#### ① C.C.カフェ

外国人が主体となってつくる対話の場としての2013年度C.C.カフェは、随時開催され、各国の料理や飲み物をきっかけに、人びとが集い交流する場づくりが行われた。今年度は中間就労的な機会として相談サービス事業につながっている相談者の参加が多く、日本人市民とのコミュニケーションをはかり社会参加につながる場となった。

実施日	内 容	参加者数(うち外国人)
4月12日	フィリピン	71人(37人)
4月26日	タイ	67人(36人)
5月10日	韓国	73人(39人)
5月24日	ペルー	48人(24人)
7月12日	フィリピン	40人(30人)
7月26日	韓国	38人(20人)
9月27日	フィリピン	43人(19人)
11月8日	韓国	48人(23人)
12月6日	フィリピン	50人(18人)
12月13日	フィリピン	40人(20人)
3月7日	ペルー	23人(5人)
	合 計	541人(271人)

#### ④ 東北支援

東日本大震災以降、豊中で一人ひとりができることを考えつづけるために実施している。「国際交流と人権を考えよう」では、「東北復興支援」をテーマにバザーを実施し、公益財団法人国際開発援助財団に寄付をした。また、宮3月2日に城県南三陸町に住む女子高校生を追ったドキュメンタリー映画「うたごころ<2011年版>」上映会&監督講演会を開催し、地域でできることを考えるきっかけとした。(参加人数(うち外国人):110人(10人))

#### ⑤ ハタチ

協会・センター設立20周年を多くのボランティア・市民と祝い、記念する事業を他事業と連携して実施した。

実施日	タイトル	内 容
9月7日・8日	『国際交流と人権を考えよう part1』	登録グループ発表会／・朴一さんの講演
10月6日	東北復興支援バザー	登録グループ、協会ボランティアによるバザー(全て寄付)
10月26日	『国際交流と人権を考えよう part2』	協会ボランティア、市職員、地域の団体による発表、出し物(全て寄付)
11月18日	20周年記念誌「ハタチのあゆみの中で」完成	協会&センターの20年をふりかえる記念誌
11月23日	Unlearn「学びほぐし」セミナー:とよなかの未来と多文化共生～多様な人びとが尊重される持続可能なまちづくり	作家若一光司さんと豊中副市長・田中逸郎さんの対談。
11月22日	フィリピン台風被害支援・多文化チャリティカフェ	多言語相談スタッフによる食べ物・飲み物の販売。(全て寄付)
12月1日	『ハタチを祝う仮面劇公演』	韓国重要無形文化財「固城五広大(コソノオグアデ)」による仮面劇公演／協会に関わる人による「ハタチの主張」／克明小学校太鼓クラブの和太鼓演奏
12月1日～10日	『南北コリアと日本のともだち展』	日本、朝鮮半島、在日コリアン、日本の子どもたちの絵の展示。テーマは「私のねがい」
12月8日	『多文化フェスティバル』	卵のワークショップ(命について学ぶワーク)／たぶんかミニとよなか(子どもによるまちづくり)／インターナショナルカフェ(多言語による絵本の読み聞かせ)
12月20日	フィリピン台風被害支援・多文化チャリティコンサート	地域に住むフィリピンの方々、日本語ボランティア、在住外国人、地域市民、市職員、多言語スタッフなどによるコンサートと食べ物の販売。(全て寄付)
3月2日	映画「うたごころ2011」上映会	東日本大震災に関するドキュメンタリー映画の上映と監督の講演。
3月8日・9日	メディアリテラシー市民ゼミナール	日頃接しているメディアを評価・分析できる力を対話を通じて学ぶセミナー。
3月31日	「20周年フォトブック」完成	20周年である2013年度の一年を写真とともに振り返るフォトブック

#### ◆その他会議等の参加・協力

##### 豊中市関係会議(23団体)

公共施設予約システム運営部会	克明小学校区連絡会	識字・日本語とよなか連絡会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	地域支援保育士例会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター(ケースカンファレンス)	こども政策推進連絡会議	豊中市公益市民活動推進会議
豊中市国際教育推進協議会	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市児童虐待防止ネットワーク会議
豊中市人権啓発市民ネットワーク会議	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
とよなか地域家庭教育協議会	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市子ども読書推進連絡協議会
豊中市保健師会	とよなか市民環境会議	ボランティア活動支援団体意見交換会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	豊中市協働推進本部会議幹事会	

その他(11団体)

大阪教育フォーラム	大阪府自治体国際化推進連絡会議	大阪府自治体国際化推進連絡会議
関西国際交流団体連絡協議会	多文化共生教育部会	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
豊中青年会議所	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
大阪大学未来戦略機構	大阪大学大学院臨床哲学研究科	

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会を実施、または外部研修に参加した。  
(協会主催の研修会は㊦印で太字)

実施日	内 容
4月3日、5月9日、6月21日、7月11日、7月18日、8月29日、9月11日、9月24日、9月30日、10月10日、11月22日、11月27日、1月26日、2月26日、2月18日・19日	全国公益法人協会定例講座 「公益法人の規制と基準」「コンプライアンスと法務監査」「内部統制課題への取り組み」「ガバナンスと監督」「会計知識と税務」「行政への提出書類」「公益法人税務の基礎知識」「提出資料作成上の課題」「一般法人法解説」「決算実務・定期提出書類講座」
6月22日	ヒューライツ大阪「在日外国人相談の現場から～貧困化と子どもの教育」
7月28日	在日コリアン青年連合会(KEY)「ヘイトスピーチを支える日本社会を問う」
8月23日	豊中市雇用労働課「ひきこもりの若者を支援につなぐための講習会」
8月13日	㊦「自治基本条例と指定管理制度」(講師:松本康之/とよなか国際交流協会理事長)
8月15日	㊦「豊中市の市民活動と指定管理」(講師:平尾和/とよなか国際交流協会理事)
8月5日、8月30日、9月2日、10月7日	㊦「豊中市多文化共生指針勉強会」(市、協会関係者と有識者による合同勉強会)
8月30日	国際交流ネットワーク大阪「外国人市民も含めた避難場所運営とは」
9月12日	情報セキュリティ研修会(講師:ゼロックス大阪)
9月20日	国際交流ネットワーク大阪「仙台市多言語支援センターの取り組みから」
9月25日	㊦人権研修・フィールドワーク「暮らしづくりネットワーク・北芝の取り組みに学ぶ」
11月1日	国際交流ネットワーク大阪「避難所体験と多言語支援センター設置訓練」
11月20日	豊能税務署年末調整説明会
11月27日	吹田税務署年末調整説明会
11月29日	雇用労働課「若者と日本の雇用システム」
12月13日	労働者健康福祉機構「メンタルヘルスセミナー」
2014年1月10日	豊中市雇用労働課「雇用と労働」
1月28日	大阪府法務課定期提出書類説明会
2月4日	㊦「指定管理制度の現状と今後の方向性」(講師:大岡一馬/公益財団法人豊中市スポーツ振興財団)
2月19日	TKC全国会「公益法人等の改正消費税」セミナー
2月24日	大阪府国際交流財団「ボランティア・コーディネーター研修」
2月23日	ヒューライツ大阪「ヘイトスピーチとは何か」
2月27日	(株)ブレインファーム「指定管理実践講座」
3月13日	㊦ボランティア・コーディネーター研修会(講師:勝部麗子/豊中市社会福祉協議会)
3月27日	全国公益法人協会/理事がしておくべき決算書の見方

## 平成 25 年度事業報告 附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 5 月

公益財団法人とよなか国際交流協会